

第3回親育ち支援地域別連絡会（東部1グループ）

令和8年7月13日（月）

場所 東洋町役場

実践シートを活用し、保護者を多面的に捉えることを学びたい

<内容>

- 交流会に向けて実際に実践シートを使って事例研の進め方を確認する。
（2グループに分かれて2事例の事例研を行う）



交流会当日の進行やファシリテーター、グラフィッカーの役割、時間配分等について確認しながら行う。



～模擬事例研をしての気づきや交流会に向けて～

- ・多面的に捉えるために、情報を集めることの重要性を改めて実感した。交流会当日は、リーダーが率先して質問することで、多くの情報を引き出したい。
- ・子どもの課題だけではなく、強みや成功体験にも着目していきたい。
- ・担任の先生の一番の悩みや参加者に聞きたいことを中心に支援を考えていくと、日々の実践にも生かせるのではないかな。
- ・意見を出しやすい雰囲気作りを考え、事例提供者も参加者も、全体が話しやすくなるような声掛けやサポートをしたい。

～A Dより～

- ・連絡会を重ねる中で、リーダー同士のつながりが生まれてきた。
- ・他者からの意見を聞く中で、保護者に対する見方を変えていけるといい。
- ・実践シートからもわかるように、様々な境遇の中で育っている子どもたちがいる。一人一人のその暮らしさを尊重しながら、園での育ちを大切にしてもらいたい。